



羽合小学校 学校通信

平成26年6月26日 NO, 52

まだまだ途中

アメリカの初代大統領ワシントンは著書の中で「誹謗中傷に対する最善の返答、それは黙々と自己の義務を守ることである」と述べています。(ワシントン著「道徳的格言」) 他人から何か言われたりすると、カッとなって反論したくなるものですが、売り言葉に買い言葉では物事は解決されません。自分のやるべきことに全力を尽くして成果を挙げれば、周囲の雑音も消えていくものです。最終的にはやるべき事をやった者が勝つのだということを信じて黙々と頑張っていくことが大切なのだというような意味でしょうか。

さて、25日の朝、サッカーワールドカップ予選リーグで、日本代表の敗退が決まりました。4年間取り組んできた成果は、今回、残念ながら出なかったのだと思います。確かに、4年ごとに行われるこの大会は、それまでの成果を試す重要な大会ですから成果が求められるのだと思います。しかし、これで終わりではありません。次のワールドカップは4年後に開かれます。

この敗戦で、日本代表チームや選手への風当たりは強くなるでしょうが、「最後はやるべき事をやった者が勝つのだ」ということを信じて、日本の代表チームは努力し続けることと思います。頑張れニッポン！！

こどもたちの世界にもたくさんの困難があります。勉強のこと、友人関係のこと、学級のことなどうまくいかないこともたくさんあるでしょう。しかし、そのほとんどは今、最終的な結論を出す必要があるものではありません。まだまだ途中なのです。あきらめたその時が、結論の出る時だと言えるのではないのでしょうか。

だから今、最終的にはやるべき事をやった者が勝つのだということをやっぱり信じて黙々と頑張っていくことが大切なのだと思います。

CMにもありましたが「黙々と人一倍努力してきた人への尊敬」を忘れてはいけません。こどもたちもまた頑張っている人です。こどもたちを尊敬と応援で励ましていきたいものです。

【授業研究会】

今日の5時間目、3年3組の算数の授業を公開学習にして授業研究会を行いました。授業の後、研究会を行いました。話し合いの柱は以下の3つです。

- ①ねらいは「みんなの力でみんなができるようになる」ための行動目標であったか。
- ②ねらいを達成するため、学習の構成も含めて関わり合いができていたか。
- ③教師の発問や支援は適切であったか。

以前の学校通信でもわたしたちの羽合小学校の研究について概要をお伝えしています。学校公開の折には、学習のねらいや展開についてご指摘もいただいています。ありがとうございます。わたしたちも、授業研究を通して指導力の向上を図って参りますので、参観や公開の折にまた、ご意見を頂戴できればうれしいです。よろしくお願いします。

羽合小学校 寺谷英則